

「つながる図書館」と「つながらない図書館」

～次世代に生き残る図書館とは？～

20141118 中堅職員ステップアップ研修 猪谷千香(いがや・ちか)

■この10年で図書館界に起きたこと

小泉内閣による地方分権化/指定管理者制度の導入／「未来をつくる図書館」(岩波新書、菅谷明子著)／「無料貸本屋」批判から「課題解決型図書館」へ／各地でビジネス支援図書館／武雄市図書館が開館、全国にフォロワー出現

■従来のイメージを破る「つながる図書館」

武蔵野プレイス(東京都武蔵野市)／まちとしょテラス(長野県小布施町)／鳥取県立図書館／島根県海士町の「島まるごと図書館構想」／伊那市立図書館(長野県)

■「つながる図書館」とは？

■現在、求められている図書館とは？

■図書館を取り巻く現状とは？

首長部局へ移管する図書館の増加／「地方消滅」の未来予測／進む日本の貧困／自治体格差が招く「図書館格差」／組織としての図書館の変化／教育委員会制度改革の背景／教育委員会から首長部局へ移管される図書館が増加／「政治的中立性は保たれるのか？」という懸念／事例：千代田区立千代田図書館／事例：江戸川区立篠崎子ども図書館

■神奈川県立図書館問題の教訓

神奈川県立図書館問題はなぜ起きた？／神奈川県立図書館を救ったのは？／神奈川県立図書館問題の教訓

■「アンネの日記」事件の教訓

■「地方創生」で図書館に期待？

事例：紫波町図書館(岩手県)

■新しい「公共図書館」の波

世界中の本棚を「図書館化」するリブライズ／図書館と図書館、図書館と外界をつなぐカーリル／公立図書館ではない公共図書館、情報ステーション／全国に広がる「まちライブラリー」／一箱古本市や本のイベント

■伊万里市民図書館(佐賀県)が示唆するものとは？

■次世代に生き残る図書館とは？